



# 自ら考え行動する児童生徒を育てる!

岡山県マスコット「ももっち」

今回は、学校教育目標「**自ら考え行動する**」のもと、**自律した学習者の育成**を目指した取組を進めた結果、教職員の働き方改革にもつながっている学校を紹介します。

## Pick Up!

### 矢掛町立**矢掛中学校**の実践

矢掛中学校では、チームで進めるカリキュラム・マネジメントによって、自律した学習者を育成するため、今年度から学校全体で、**準備学習**、**単元テスト**、**5時下校**に取り組んでいます。

#### 準備学習

全生徒共通の**定型的な課題を廃止**し、生徒が見通しや興味をもって授業に取り組むために、事前に準備して授業に臨む予習型の課題（準備学習と呼んでいる）を設定。

- ★生徒は準備学習で疑問に思ったことを授業で理解できる。
- ★準備学習を授業での協働学習につなぐ取組が進んだ。

#### 単元テスト

**定期テストを廃止**し、単元のまとまりごとに行う単元テストを実施。

単元ごとの流れを優先するため、日程は統一せずクラスごとに実施しているが、希望者には「再テスト」を実施し、再テストを受けた生徒は、その点数を評価の対象としている。

- ★単元テストは、生徒が自らの学習を振り返ったり、教員が指導の改善にいかしたりするために有効である。
- ★教員は単元への意識が高まり、これまで以上に明確に単元計画を生徒に示すようになった。

#### 5時下校

生徒の家庭学習の時間を十分に確保し、計画的に学習を進めることができるよう、年間を通して、**平日の最終下校時刻を午後5時**とした。

部活動の時間を確保するため、朝読書の時間の廃止など、**日課表の見直し**を行い、帰りの会の終了時刻を20分早めた。

- ★生徒は家庭学習の時間の確保に加え、習い事や家庭のことにかける時間の確保にもつながっている。
- ★教員は教材研究等の時間の確保や時間外在校等時間の縮減につながっている。

生徒アンケートでは、**8割以上の生徒がこれらの取組に肯定的な回答**をしています。

### 学校運営協議会等も有効に活用

矢掛中学校では、6月に実施した**学校運営協議会**の中で、準備学習、単元テスト、5時下校の取組について議題として取り上げた。**生徒もオブザーバーとして参加**し、準備学習、単元テスト、5時下校の3グループに分かれて委員と熟議を行った。

委員から取組に対する地域からの不安の声などの情報提供もあったが、協議会を通して、「新しい取組が効果的であることがよく分かった」等の意見が得られた。

矢掛中学校では、これまでも生徒や保護者に直接周知するだけでなく、**地元のケーブルテレビ等を通じた情報発信**もしてきたが、地域の不安を解消するため、一層の情報発信を続けていく必要があると考えている。